

郷歳米通信

2023年7月

◆季節の便り

6月末に鮎の友釣りが解禁され、毎年多くの釣り客が訪れる佐見川沿いには、他県ナンバーの車が連なって駐車している景色が見られるようになりました。もはやこれも佐見の夏の風物詩の一つと言えるかもしれません。ただ、今年の友釣りはあまり芳しくないようで、生産者数人に聞いたところ、釣果はイマイチだったとのこと。なので、8月末に解禁される網漁においては、友釣りで釣れなかった分大漁を期待したいところですが、川にいる鮎は全体として少なそうなので期待も程々にしておきたいところです。

◆田んぼの様子

6月25日に、11名の生産者で稲の生育状況を見て回りました。草が沢山生えている田、生育が遅れている田、アイガモ達が活躍している田、それぞれ意見を出したり、アドバイスをしたり、されたりしながら田んぼを回りました。いまのところは皆順調そうで、昨年よりも良いのではないかと予想すらしています。ただ、毎年このあとの悪天候で泣かされることも多いため楽観視はできないかなと考えています。

また、今年は天候以外に鹿やタヌキの被害が増えており、その対策に多くの労力や費用を費やしています。3、4年前には、住民総出で山際にフェンスを張り、里に獣が出てこられないような対策を施しましたが、道路や川には防護柵を張ることが困難なため、そこから侵入し、いまなお被害は出続けています。

その為、結局、川や山に近い田には、侵入防止の電気柵を張る事態となりました。

また、田んぼだけでなく、畑も獣が狙う対象となっているので、ますます生産者は頭を悩ませています。



◆ 稲刈り体験のお知らせ

日 時：9月17日（日） 10時～12時（雨天中止） ミニマルシェ（12時30分～）

場 所：成山むつみ会館 9時45分までにはお越し下さい。

持ち物：作業着 着替え 帽子 飲み物 食器（カレー皿） 箸 スプーン

会 費：大人600円 小学生以下300円 昼 食：ジビエカレー